

## はじめに

私たちのまち塩竈は、豊かな海に囲まれた自然を有し、これらの自然から多くの恩恵を享受し、発展してまいりました。この豊かな自然を次世代に受け継ぐことは、私たちの重大な責務であります。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、本市の自然環境に多大な被害をもたらしました。私たちは、長期的な停電や燃料不足など、これまでにない環境におかれ、エネルギーや環境保全の大切さを痛感しました。

本市では、それらの経験を通じて得た貴重な教訓、また環境の保全と創造の基本理念に基づき、これまでの計画の見直しを図りながら、復興に向けた環境づくりや資源・エネルギーの利用のあり方など、新たな課題を盛り込んだ「第2次塩竈市環境基本計画」を平成27年に策定いたしました。

平成30年度は、本計画に基づく環境像「海とともに生き、自らの手で築く、シーサイド・エコシティ塩竈」を実現するため、前年度に引き続き、基本目標の管理指標に沿った関連施策の確認を行いながら、事業を進めてまいりました。

今後も、私たちを取り巻く環境問題に対して、行政、市民、事業者の皆様一人ひとりが協力し合いながら、環境の保全や循環型社会の実践に向け、ライフスタイルや事業計画の再確認も踏まえ、取り組んでいければと考えております。

本書は、平成30年度における本市の環境の現状及び市の目標・施策などについてとりまとめたものです。市民の皆様が塩竈市の環境について考えるきっかけとなり、塩竈の環境に関する認識とご理解を更に深めていただければ幸いに存じます。

令和2年3月

塩竈市長 佐藤 光樹